

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和 7 年 11 月 20 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社 吉本組
所 在 地	〒045-0001 北海道岩内郡岩内町字大浜 89 番地 6
代表者役職・氏名	代表取締役 吉本貴昭
担当者連絡先	電話: 0135-62-0632 メール: nobuta@jiysmt.co.jp
ウェブサイトURL	yoshimotogumi.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、昭和 23 年（1948 年）創業の総合建設業者で、昭和 23 年岩内港防波堤工事を請負って以来、岩内港、小樽港、石狩湾新港をはじめとする港湾漁港の海洋土木工事に携わり、今日まで社会資本整備の一翼を担ってまいりました。

令和 3 年には、新たに船舶（起重起船）を取得後改造し、多様な港湾工事に対応できる装備を有し、環境対策・安全対策を施した多目的作業船を保有しています。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	自社保有作業船の活用と作業前点検・整備の徹底で、海洋汚染事故防止を図る。	海洋汚染事故ゼロ 〔現状〕 0 件/年間 〔目標〕 0 件/年間
□環境 ✓社会 ✓経済	意識改革と業務の効率化、合理化、生産性向上により時間外労働時間を短縮する。	時間外労働時間 〔現状〕 平均 32.0 時間/月 〔目標〕 平均 30 時間/月
□環境 □社会 ✓経済	本社電力消費量の削減を目指す。	〔現状〕 使用量 62,572kwh 〔目標〕 使用量 50,000kwh

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメント禁止に関するポスターの掲示や講習会への参加により一人一人の意識を高めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	北海道働き方改革推進企業(シルバー企業認定)								8.5 8.8							
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	労働安全衛生マネジメントシステム(ISO45001)の取得		3						8							
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	メンタルヘルスチェックと、健康面に関する情報を提供するなど健康維持の対策に取り組んでいる。		3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	北海道女性の活躍推進企業、北海道あつたかファミリー応援企業の認定				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務に応じた外部講習会に積極的に参加させている。 ・毎年、社内研修会(工事報告会)を実施し、情報共有を図っている。			4	5.5			8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを策定している。 ・インフルエンザワクチン接種の補助を行っている。		3					8								
	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・北海道グリーン・ビズ「優良な取組」認定取得し、ゼロカーボンチャレンジへ登録。 ・本社・現場事務所で出たゴミは、リサイクルできるもの、できないものに分別してから処分している。										11.6 12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	自車両CO2排出量と電力使用量の把握を行ない、低減に努めている。						7.3					13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・本社施設の照明をLEDとしている。 ・保有船舶に国際海事機構(LMO)のNOX環境エンジン(2次規制)を搭載している。					7.2 7.3					12.4 13.3					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる					3.9				6.3				11.6	12.4			
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	国有林収育林事業に参加(7.3ha)し、森林公収育林により水源かん養、山地保全に貢献している。							6.6							15		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4	6.6									
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	環境マネジメントシステム(ISO14001)の取得			3.9			6	7				12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している														12.6			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	現場で太陽光パネルを設置して再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。							7.2					13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15	
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4				
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	品質マネジメントシステム(ISO9001)の取得									9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・近隣自治体への寄附を継続して行っている。 ・地元中学・高校生のインターンシップを毎年行っている。 ・交通安全活動を積極的に行っている。				4					9		11	12		14	15	17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・地域のイベントへの協賛や、福祉施設への寄附寄贈活動を続けている。 ・2001年より、毎年地域の清掃活動を実施している。				4							11			14	15	17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13			

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・わが社のSDGsの取組についてホームページで紹介している。 ・定期的に社内報を発行し、情報の共有を図っている。									8	9						17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している																	16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	ISO(19001品質、14001環境、45001労働安全)マネジメントシステムを運用し、活動している。																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	災害発生時に地域住民へ提供できる様、避難場所の確保と防災用品(飲料水、毛布、仮設トイレ、乾パン、懐中電灯等)を常備している。																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	令和4年1月、経済産業省より、「事業継続力強化計画」の認定を受けている。									9		11		13.1			16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている										8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- 各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- 今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- 取組に関する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- 「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。